



第48回通常総代会を開催

～たくさんの想いをカタチに～

協同の力で、笑顔ひろがる 豊かなくらしを実現しましょう!



6月11日(水)吹田市文化会館メイシアターにて、第48回通常総代会を開催しました。総代507人中、494人が出席(本人出席190人、書面出席304人、委任出席0人)しました。冒頭菺内理事長の挨拶、来賓を代表して紀ノ川農業協同組合の宇田篤弘組合長にご挨拶いただいたあと議案提案が行われ、提案した第1号～第4号の全議案が賛成多数で可決されました。総代からは278通の意見が寄せられ、当日会場では6人の総代が発言しました。

	議案	賛成	保留	反対
第1号議案	2024年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案承認の件	多数	5	0
第2号議案	2025年度活動方針・収支予算及び役員報酬決定の件	多数	5	3
第3号議案	大阪府下における新たなフードバンク法人加入の件	多数	13	8
第4号議案	組合員除名の件	出席総代の3分の2以上	10	2



理事長挨拶 (要旨)

理事長 菺内 剛

現在、お米の不足により注文に対応できず、ご迷惑をおかけしています。国の政策に対し、理事会では意見書提出などの取り組みを行っています。農業と私たちの暮らしは密接に関係しており、今後も意見表明を続けます。

2024年度より『我らよどがわ縁農隊』を開始し、農業に関心のある組合員とともに農作業を支援しています。よどまるファームでは玉ねぎとじゃがいもを栽培し、収穫物はこども食堂に提供予定です。農業の大切さや課題を共有し、消費者としての関心を広げていきましょう。

共同購入事業では、米の供給拡大と情報提供に努め、生産者との『顔が見える関係』づくりを進めて、秋以降は安定供給をめざします。

2025年は被爆・戦後80年の節目の年です。よどがわ市民生協が平和に取り組むのは、創立時の『よりよい生活と平和のために』という理念に基づいています。組合員のみなさんとともに、平和について考え、伝えていきたいと思います。

2024年度主な取り組み

くらしの背景や組合員の想いに共感し、願いの実現に努力することを大切にしました取り組みをすすめました。

みんなが笑顔になる食やくらしを実現する事業

令和の米騒動による食料確保の不安など、さまざまなくらしの課題が浮き彫りとなりました。紀ノ川農協の一株トマトの余剰分応援企画や『高齢者福祉に関するアンケート』結果より介護や終活について学習会を行いました。

知りたい、学びたいを大切に、誰もが参加できる活動

「できる人ができるときに」との思いで、『我らよどがわ縁農隊』(農業ボランティア)がスタートしました。また、新施設オープンに向けてワークショップを開催しました。『よどがわ市民生協×ガンバ大阪×日本センチュリー交響楽団』による『わくわく体験会』を実施しました。



ありたい社会・地域づくりへの想いを広め、協同をすすめる

スマホの使い方で困っている組合員と学生とをつなぎ『スマホ教室』を開催しました。また、東淀川では『地域で気軽に集まれる場所をつくりたい』と居場所づくりがスタートし、2025年4月『はっちぼっち』として誕生しました。



持続可能で発展し続ける生協をめざして、将来に備える

グローバルな人材採用や男性の育児休暇取得がすすみました。



〔2024年事業結果・2025年度予算〕

決算

貸借対照表(要約)

2025年3月20日現在
(単位:百万円。以下は切り捨て)

資産の部		
科目	金額	前年対比
I 流動資産	7,849	107.4%
II 固定資産	4,162	99.9%
資産合計	12,011	104.6%
負債及び純資産の部		
科目	金額	前年対比
III 流動負債	2,649	103.9%
IV 固定負債	457	96.7%
負債合計	3,106	102.8%
V 組合員資本		
出資金	4,641	101.8%
剰余金	4,263	109.5%
法定準備金	2,050	107.8%
任意積立金	1,446	117.5%
当期末処分剰余金(うち当期剰余金)	766 (473)	100.6% (92.7%)
純資産合計	8,904	105.3%
負債及び純資産合計	12,011	104.6%

損益計算書(要約)

2024年3月21日～2025年3月20日
(単位:百万円。以下は切り捨て)

科目	実績	予算比	前年比
I 供給事業			
供給高	15,253	101.1%	101.3%
供給剰余金	4,518	101.7%	101.4%
II 福祉事業	38	79.3%	87.5%
福祉剰余金	13	78.0%	86.2%
III その他事業収入	521	99.4%	98.8%
事業総剰余金	5,054	101.3%	101.1%
IV 事業経費	4,485	95.3%	103.9%
事業剰余金	568	202.6%	83.3%
V 事業外収益	65	142.1%	124.5%
VI 事業外費用	4	73.2%	91.3%
経常剰余金	628	196.4%	86.2%
税引前当期剰余金	628	199.5%	92.4%
法人税等	152		83.2%
法人税等調整額	2		-20.5%
当期剰余金	473		92.9%
当期首繰越剰余金	264		118.8%
任意積立金取崩額	28		100.2%
当期末処分剰余金	766		100.6%

2025年度収支予算(要約)

(単位:百万円。以下は切り捨て)

科目	金額	前年実績比
I 供給事業		
1.供給高	15,294	100.3%
無店舗事業	15,294	100.3%
2.供給原価	10,775	100.4%
供給剰余金	4,519	100.0%
II 福祉事業		
福祉事業収入	38	99.8%
福祉事業費用	24	95.7%
福祉事業剰余金	14	107.7%
III その他事業収入	521	100.0%
事業総剰余金	5,055	100.0%
IV 事業経費計	4,799	107.0%
人件費	1,409	102.6%
物件費	3,390	108.9%
事業剰余金	256	45.1%
V 事業外収益	50	77.3%
VI 事業外支出	6	136.5%
経常剰余金	300	47.8%
VII 特別利益		
VIII 特別損失	5	
IX 税引前当期剰余金	295	47.0%

剰余金処分について

剰余金処分の基本的な考え方は、『組合員への還元』『働く人の労働環境改善』『事業発展・大規模災害の備え』『地域・社会協同』という4つの視点を大切にしました。利用分量割戻金は、共同購入事業(ギフトなどを除く)年間利用高の0.6%、総額9,028万円とします。出資配当は、年間平均出資金の0.3%、総額1,326万円とします。生協法の定めにより、法定準備金として1億5,000万円を積み立てます。

I. 当期末処分剰余金	7億6,633万円
II. 剰余金処分額	
1. 法定準備金	1億5,000万円
2. 利用分量割戻金	9,028万円
3. 出資配当金	1,326万円
4. 任意積立金	
(1) 無店舗事業強化積立金	1,000万円
(2) 災害等損失積立金	2,000万円
(3) 施設開発改善積立金	1億円
(4) 広報強化積立金	1,000万円
(5) 新支所建設積立金	1億円
	4億9,354万円
III. 次期繰越剰余金	2億7,279万円

